

福島第一、福島第二原子力発電所 環境モニタリングデータの公開方法の変更について

公開時期：平成24年10月18日(木)14:00以降

福島第一原子力発電所 既設モニタリングポスト/可搬型モニタリングポスト/モニタリングカー
(福島第二の既設モニタリングポストについては福島第一の既設モニタリングポストと同様の掲載)

既設のモニタリングポストについては毎分10分値をリアルタイムで掲載
URL (福島第一) : <http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/index-j.html>
URL (福島第二) : <http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html>


【HP掲載イメージ】

福島第一原子力発電所構内でのモニタリングポスト計測状況

福島第一原子力発電所構内のモニタリングポスト(MP1~MP8)および可搬型モニタリングポスト、モニタリングカーにおいて測定している空気中の放射線量の測定結果をお知らせいたします。

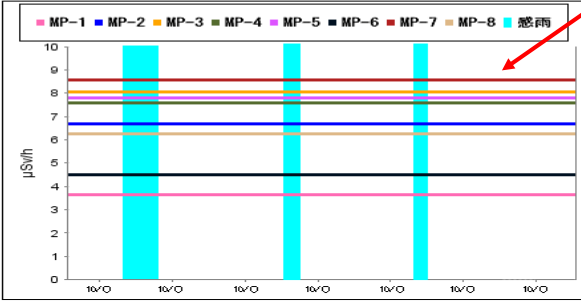
既設モニタリングポストデータ

計測地点



[拡大して表示する](#)

計測グラフ



1 時間毎に更新

MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7	MP-8	風向	風速	感雨
3.7	6.8	8.3	7.8	7.8	4.4	8.4	6.3	北東	7.1	有

MP単位: $\mu\text{Sv/h}$ 風速単位: m/s

※風速0.5 m/s 未満の場合「CALM」(静穏)、風向を「-」と表記。
※排気筒における風向・風速の観測については、豪雨により正確に観測できない場合があります。


○お知らせ

○当日分のデータ(00:00~23:50)については、翌日の00:10に「過去の計測結果(平成24年10月17日以降)」へ掲載されます。
○発電所敷地境界の空間線量率を測定しているモニタリングポスト(MP)のうち、MP2~8につきましては、空間線量率の変動をより正確に測定することを目的に、平成24年2月○日~4月○日に、環境改善(森林の伐採、表土の除去、遮へい壁の設置)の工事を実施しました。環境改善工事により、発電所敷地内と比較して、MP周辺の空間線量率だけが低くなっています。

- 過去の計測結果(平成24年10月17日以降)
- 過去の計測結果(平成24年10月16日以前)

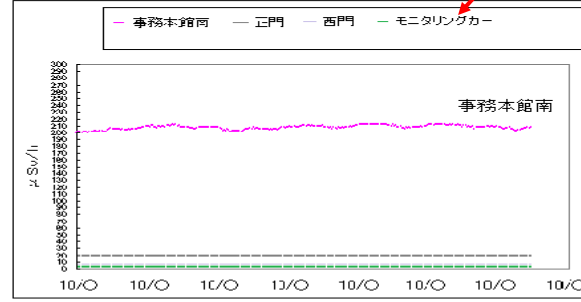
可搬型モニタリングポストデータ、モニタリングカーデータ

計測地点



[拡大して表示する](#)

計測グラフ



**従来の掲載方法を継続
(新たにモニタリングカーデータを追加)**

○計測値(最新値)
[福島第一原子力発電所の現状について【最新値】](#) [ダウンロード](#)

○お知らせ

- 過去の計測結果

福島第一原子力発電所 排気筒モニタ


毎分10分値をリアルタイムで掲載
 URL: <http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/stack/index-j.html>

【HP掲載イメージ】

福島第一原子力発電所構内での排気筒モニタ計測状況

福島第一原子力発電所構内の排気筒モニタにおいて測定している、排気筒から環境へ放出される排気中の放射線量の測定結果をお知らせいたします。

計測地点



[拡大して表示する](#)

計測グラフ



[拡大して表示する](#)

1時間毎に更新

○計測値(2012/○/○ ××:××)

5, 6号機共用排気筒	風向	風速
6.5	北東	7.1

※風速0.5m/s未満の場合「CALM」(静穏)、風向を「-」と表記。
 ※排気筒における風向・風速の観測については、豪雨により正確に観測できない場合があります。

○お知らせ

○現状、1~4号機については事故の影響により排気筒の監視装置は使用不能となっております。

○排気筒について

排気筒は、発電所の建物内の空気や復水器を真空にしておくために引いた排気を一元的に放出するための設備です。排気筒からは、普通の煙突とは違い、発電所の建物の中で使った空気が出て来ます。排気される空気中には、微量の放射性物質が含まれているため、活性炭式希ガスホールドアップ装置やフィルタなどの設備によって環境へ影響を小さくしています。

○排気筒モニタについて

排気筒モニタは、発電所から環境へ放出される排気中の放射線を測定する装置です。

○測定単位:cps(count per second) について

1cpsとは、放射線測定器で1秒間に1個放射線を測定したことをいいます。

10分毎に更新

福島第二原子力発電所 排気筒モニタ

毎分10分値をリアルタイムで掲載
 URL: <http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/stack/index-j.html>

【HP掲載イメージ】

福島第二原子力発電所構内での排気筒モニタ計測状況

福島第二原子力発電所構内の排気筒モニタにおいて測定している、排気筒から環境へ放出される排気中の放射線量の測定結果をお知らせいたします。

計測地点



①1号機主排気筒
 ②2号機主排気筒
 ③3号機主排気筒
 ④4号機主排気筒
 ⑤廃棄物処理建屋換気系排気筒

[拡大して表示する](#)

計測グラフ



■ 1号機主排気筒 ■ 2号機主排気筒 ■ 3号機主排気筒 ■ 4号機主排気筒
 ■ 廃棄物処理建屋換気系排気筒

拡大して表示する

○計測値(2012/○/○ ××:××) 排気筒単位:cps 風速単位:m/s

1号機	2号機	3号機	4号機	廃棄物処理 建屋換気系	風向	風速
2.3	3.5	3.2	4.5	2.1	-	CALM

※風速0.5m/s未満の場合「CALM」(静穏)、風向を「-」と表記。
 ※排気筒における風向・風速の観測については、豪雨により正確に観測できない場合があります。

○お知らせ

○排気筒について

排気筒は、発電所の建物内の空気や復水器を真空にしておくために引いた排ガスを一元的に放出するための設備です。排気筒からは、普通の煙突とは違い、発電所の建物の中で使った空気が出て来ます。排気される空気中には、微量の放射性物質が含まれているため、活性炭式希ガスホールドアップ装置やフィルタなどの設備によって環境へ影響を小さくしています。

○排気筒モニタについて

排気筒モニタは、発電所から環境へ放出される排気中の放射線を測定する装置です。

○測定単位:cps(count per second) について

1cpsとは、放射線測定器で1秒間に1個放射線を測定したことをいいます。

10分毎に更新

福島第二原子力発電所 放水口モニタ

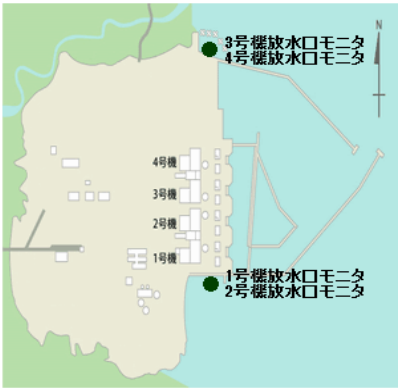
毎分10分値をリアルタイムで掲載
URL: <http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/washport/index-j.html>

【HP掲載イメージ】

福島第二原子力発電所構内での放水口モニタ計測状況

福島第二原子力発電所構内の放水口モニタにおいて測定している、放水口から放出される液体の放射線量の測定結果をお知らせいたします。

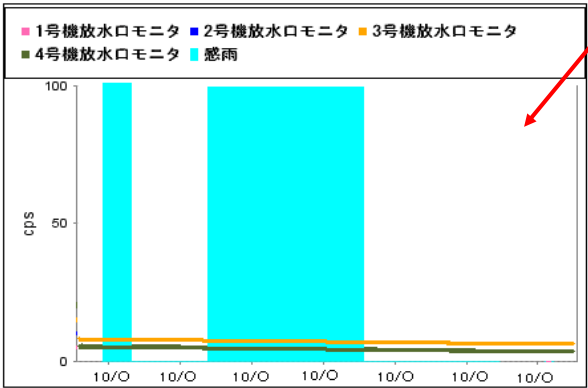
計測地点



3号機放水口モニタ
4号機放水口モニタ
1号機放水口モニタ
2号機放水口モニタ

拡大して表示する

計測グラフ



1号機放水口モニタ 2号機放水口モニタ 3号機放水口モニタ
4号機放水口モニタ 感雨

1時間毎に更新

放射線量単位: cps

○計測値(2012/○/○ ××:××)
設備の不具合・調整等により、データが表示されない時間帯が発生しています。

1号機	2号機	3号機	4号機	感雨
-	-	7.5	7.2	有

○お知らせ

○1・2号機放水口モニタは、東北地方太平洋沖地震の影響をうけ、現在復旧作業中です。当該モニタの復旧が完了し、準備が整い次第、公開する予定です。

○放水口について

放水口は、原子炉で発生する蒸気を冷やして水に戻すための冷却水(海水)や、洗濯廃液、シャワー廃液、プラント余剰水といった液体廃棄物の他、発電所構内の雨水などが放出される場所です。

○放水口モニタについて

放水口モニタは、発電所の各放水口にそれぞれ設置して、放水口から放出される液体の放射線を測定する装置です。放水口モニタの測定値は降雨の影響により変動します。

○測定単位: cps(count per second) について

1cpsとは、放射線測定器で1秒間に1個放射線を測定したことをいいます。

10分毎に更新